

お知らせ

記者発表資料

令和7年3月27日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

「令和7年度 入札・契約手続き等に関する説明について」録画を配信します。

1. 目的

入札・契約手続きのより一層の透明性及び競争性の確保、公共事業の品質確保の推進等を目的として、「令和7年度 入札・契約手続き等に関する説明」の録画を配信しますのでお知らせします。

2. 配信開始日 令和7年4月10日（木） 10：00～

3. 説明内容

- 1) 公共事業関係予算・主な事業概要
- 2) 工事の入札・契約、積算基準の改定について
- 3) 営繕工事の取り組みについて
- 4) 業務の入札・契約、積算基準の改定について

3. 配信（掲載）方法

- ・「説明資料」及び「録画配信」は、中国地方整備局ホームページ「新着情報」(<https://www.cgr.mlit.go.jp/news/index.html>)にてお知らせ（掲載）します。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 企画部 技術管理課

082-221-9231（代表）

技術管理課長 たけえ 竹江 ひとし 仁（内線 3311）

（担当） 課長補佐 そね 曾根 ゆきちか 千親（内線 3315）

令和7年度入札・契約手続き等に関する説明 録画配信の内容

配信開始日：令和7年4月10日（木）～

1. 挨拶（技術調整管理官） 【5分程度】

2. 説明内容
 - 1) 公共事業関係予算・主な事業概要 【15分程度】
 - 2) 工事の入札・契約、積算基準の改定について 【60分程度】
 - 3) 営繕工事の取り組みについて 【15分程度】
 - 4) 業務の入札・契約、積算基準の改定について 【25分程度】

令和7年度 入札・契約制度の見直し〔工事〕（ポイント）

■ 令和7年度の入札・契約制度等において、以下の項目が変更となります。

●入札手続きの改善に向けた見直し

No.	項目	見直し概要
1	地域要件の緩和（広島県内事務所）	H30西日本豪雨により、広島県内事務所において地域要件を地方生活圏から広島県内に拡大していたが、入札不調・不落など、契約状況が災害前の状態に戻ったため、地域要件拡大の運用を終了する。
2	若手・女性技術者活用促進型	建設業界における担い手確保、若手・女性技術者の現場進出・活躍の推進を図るため、女性技術者又は、若手技術者（満年齢29歳以下）の現場配置で評価を行う。
3	ワーク・ライフ・バランス推進企業の評価	ワークライフバランス推進の更なる取り組み拡大のため、総合評価落札方式における全ての公共工事に適用する。
4	ICT活用工事	ICT実施要領の改正に伴い、R7年度からICT土工、ICT河川浚渫が原則化となるため、ICT土工、ICT河川浚渫工事は評価の対象としない。
5	発注標準の見直し	発注標準の見直しに伴い、一般土木工事を含む5工種の等級区分の予定価格を変更。

●土木工事積算基準改定

No.	項目	積算基準改定概要
1	直轄工事等における積算改定（働き方改革関係）	現場環境の改善費用の充実（熱中症対策・防寒対策）
2		完全週休2日（土日）の実現等の多様な働き方への支援
3	現場実態を踏まえた改定	土木工事標準歩掛、施工パッケージ型積算関係の改定（移動時間を踏まえた歩掛改定など）
4		ICT活用工事の拡大、積算の改定
5	積算基準適用スケジュール	工事・業務の令和7年度積算基準の適用スケジュール

●土木工事共通仕様書の改訂

No.	項目	共通仕様書改定概要
1	ウィークリースタンスの実施	監督職員及び受注者は、「ウィークリースタンス」の実施に努めることを規定。
2	橋歴板の材質を変更	銅の価格高騰に伴う盗難被害の急増を踏まえ、標準とする材質を鋳物用銅合金地金から、アルミニウムに変更。
3	品質管理基準の改定	既製杭工（鋼管杭）の試験項目の適用範囲の明確化。
4	写真管理基準の改定	既製杭工における鋼管ソイルセメント杭の写真管理項目の明確化。
5	ウィークリースタンスに関する項番号の変更	ウィークリースタンスが全国版に記載されたことによる項番号の変更。 中国工事版「ウィークリースタンスの取り組み」の一部改正による条文変更。
6	工事成績優秀企業認定（ゴールドカード）を受けている企業の中間技術検査の減免	工事成績優秀企業の認定（ゴールドカード）を受けていれば本官工事にも適用に変更。
7	ICT活用工事における適用条文を追記	特記仕様書に記載されている図面の取り扱いの条文を追記。

※ 上記以外の事項についても、表現や扱い等が変更となっている事項がありますのでご注意願います。

令和7年度 入札・契約制度の見直し〔業務〕（ポイント）

■令和7年度の入札・契約制度等において、以下の項目が変更となります。

●入札手続きの改善に向けた見直し

No.	項目	見直し概要
1	技術提案簡素化型の試行	入札参加者による技術資料作成及び発注者による技術資料審査の負担軽減を目的として、技術提案の一部を省略する試行を新たに導入。
2	ワーク・ライフ・バランス等促進	企業の人材育成・定着に役立つ3つの認定制度（えるぼし・くるみん・ユースエール）の認定企業を評価することで、働きやすい職場環境整備を促進。
3	業務チャレンジ型の試行	企業の新規参入の機会拡大を目的として、地域内における本店の有無を評価項目に加えるなどした「業務チャレンジ型（Ⅱ型）」を追加。

●設計業務等標準積算基準書の改訂

No.	項目	積算基準改定概要
1	設計業務等標準積算基準改定	機械ボーリング（土質ボーリング・岩盤ボーリング）の標準貫入試験及びその他間接調査費の日当たり作業量を改定。
2		軟弱地盤技術解析業務の歩掛を改定。
3		橋梁予備設計及び橋梁詳細設計の歩掛を改定。
4	測量業務の諸経費	測量業務の諸経費率を改定。

●設計業務等に関する共通仕様書の改訂

No.	項目	共通仕様書改定概要
1	調査・設計・測量業務等共通仕様書(案)	総則の「打合せ等」に、「ウィークリースタンス」に努める旨を追記。

※ 上記以外の事項についても、表現や扱い等が変更となっている事項がありますのでご注意願います。